

2018年4月25日(水)

6年生としての自覚の芽生え

4月も終盤に近づき、始業式からの生活を振り返ってみると、「最高学年としての自覚」が芽生えてきたと実感します。

通常の開門時間より10分前に教室に入り身支度を済ませ、正門にて1年生を受け入れる態勢に入っていました。登校が不安にならないように、優しくサポートすることを心がけてきました。

昇降口での靴箱の場所や靴の履き替えの確認、教室までの行き方や机の中に教科書やノートをきちんと入れる方法。提出物を出すことの他、制服から体操服に着替える手順や制服をハンガーにきちんとかけてロッカーにしまうことなど、学校生活のスタートをエスコートしてきました。

身支度後は、校庭に一緒に出て遊んだり、昼には給食を早々に済ませ、1年生の給食の手伝いに入ったりと触れ合いが深まってきました。



1年生のペースに合わせつつも教えてあげたり、ふれあいをもつことで最高学年としての意識と自覚が芽生えた月となりました。

また、1年生だった当時の自分に重ね合わせながらサポートもしていたことでしょう。



あなたは
どう過ごす？

